

漫録

異動した土木部課長評

丹波浪人



浮草稼業の地方官、前内閣時代に鹹られた札附きが今日
は彼處の岸に咲く、と言つた諧謔は、いつの内閣にでも見
得る事態であつて、組閣當時に無理な人事はやらない扱と
嘘を言はない方が素直だ、で、正々堂々と地方官の大異動
をやると、内證的にやるとを比較してみると、お勧め
する譯ではないが、露骨にやる方が男性的だ。己むを得な
い異動ぢや扱と辯解しない方が利巧だ。

土木部課長も技術官ではあるが、地方官である以上は矢

張り政情の如何に依つては彼處此處と動かされる、技術官

を地方政府の爲に動かすのは不都合だと言つて見たところ
で、事務官は勤かしても可いが技術官はいけないと言ふ理
窟がある譯ぢや無い、矢張り浮草の本質に従つて風の間に
まに動かなければならぬ、地方技術官連中の希望してゐる
土木部長制度を全國に亘つて布けば夫れが一層激甚になつ
て來る、で其の制度を實施する前に、政變ごとに襲つて來
る大地震を覺悟せねばならぬであらう。



政友會の大御所床次御大のお嬢さんで有名な知事鈴木信太郎の配下から山形の土木課長に轉じた菅良二君今頃に東北落ちでもあるまいに、ドー言ふ風の吹き廻しか知らないが聊かお氣の毒なやうな感に堪へない、と言ふのは四十一
年帝大出の先輩でありながら二級縣に落されたからだ、君は轉任の挨拶をして、餘り仕事を遣ら無かつたと見え追ひ出されました、と言つてゐたが、鈴木知事の體の何處を押へても君を追ひ出すやうな勇氣と無情氣は微塵もない、知事の個性からすると土木課長位はドーでも可い吾不關焉的の男だからだ、で追出されたものとすれば他に理由を

求めなければならぬ。夫れは幸か不幸か知らないが、前知事の千葉了が、中學時代の同窓生だと言ふ詰らぬ關係から、山陰方面で燻つて居た君を引き抜き出して、自分の配下にしたことが内閣が變つて祟つたのだ、地元の民政黨の連中



に言はすと、ドー言ふ因縁で長野に來たかは知らないが、彼の顔を見ると千葉を見るやうな氣持がして癪に碍ると言つて居る位に毛嫌された、併し君にして見れば舊友が呼んで呉れたから轉任したまで、夫れ程厭がられる仕事をした譯ではない、言はゞ最員の引き倒しと言つた形だ、實際純真技術家の型を持つ君には地方政治の争の圈内に生活せしむるには適當して居ない。

菅 良二 君の調子で君の事業慾を押へ附けた君のかも判らないが、在任三年になつてゐるのに筆者等を感心せしめるやうな仕事をしてゐない。殊に山間部に在る長野は陸上交通機關の改善を要求してゐるのに、肝要な道路の改良だつて近代的のものは一つも計畫しなかつた、唯一つの篠井橋の架換でも前任者のお蔭であつて、夫れも橋を架けたことが前後道路を君の時代になつて一二年後に完成すると言

つた調子だから他の以て推すべしである、其の責任の一半は君も亦免ることは出来ないであらう。

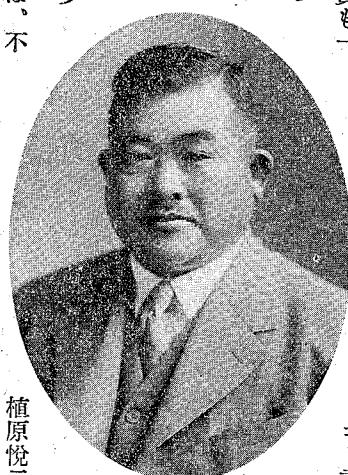
行く先、山形では前任者の兒玉靜雄君が、遺り過ぎたと評せらるゝ程に腕を振つた跡で、或は君をして新事業を計畫さすだけの餘地がないかも判らぬ、併し兒玉君の仕事は今後數年を俟たなければ完成しないものがある筈だ、君は其の仕事を忠實に執行して緩慢であつた篠井橋前後道路工事のやうな遣り方を再びしないやうに知事を補佐することが肝要だ、君がいつも温厚な態度を持ってゐても相手手が相手方だから少しは先方を達觀して行動するのが現代の處世術だ。政治家の狙つてゐる梵字川水利権の問題も、君の手腕を試るべく待つてゐるさうだ、お勧めするのぢや無いが、土木課長の役も少しは政治的に行動せなければならぬとすれば、是等の問題は君を試験するのに好適の題目であらう。兎に角土木の仕事は積極的にやつてこそ面白味もあり效果も擧るものだ、少しは考へを直して貰ひたいものだ。

◇

菅君の後釜に坐つた山形の兒玉靜雄君、菅君の異動に餘義無くされたやうにも見えるが、併し夫れに引き會に出されやうに爲つたのは餘り山形で遣り過ぎて民政黨の連中から睨まれた勢だとも言はれてゐる、文部省普通學務局長の篠原英太郎が知事の時代に土木課長と爲つた君は、全くの幸運兒であつた、と言ふのは、曾て路政僧君が本誌で紹介したやうに知事は非常な道路事業家であつて、大計畫を目論み縦横に君の手腕を振はしめて呉れたからだ、夫れに加へて知事の下には例の快男兒川村貞四郎が内務部長をしてゐて、此三人が協力同心、獨り土木のことばかりでない縣政を思ふ存分に執行した、併し世は變つて長官篠原は文部に榮轉する、川村は青森で馘首されるといつた調子であるから、三人組の一人である君を山形に残して置く譯にも行かなかつたのであらう。そこで凡轉に甘せなければならぬやうに爲つたのだ。

君は薩摩隼人を代表してゐるやうな男性だ、従つて意氣相合ふ者の爲には水火をも辭せない底の男である、夫れに

加へて政争で名高い熊本で田舎代議士を相手に人知れぬ苦勞をしてゐたお蔭で、時には知事や部長を凌駕するやうな意見を吐くことがある。此處等に篠原知事が惚れたのであらう。兎に角普通の課長としては取扱は無かつた、快男兒川村でも君を兄貴と言つてゐる位に可愛がつた、此調子だから民政系の人も政友系の縣會議員も一寸君には歯が立たない、内閣が變つても表向きに君を追出す譯には行かない、併しながら内心癪に障つてゐただらうから山形縣御用濟の聲を立てるに爲つたのであらう、君も亦意氣投合した連中に去られて普通の課長扱にされてゐるのは、不愉快だと思つたのであらう、夫れで君は今度の轉任も餘り悲觀しては居ない、又土地が變つたら新らしい仕事が出来ると、却つて喜んで居る、併し筆者は此入れ換へを上手だと褒めるだけの勇氣はない、兒玉君の手腕を待つてゐる地



甚で政友會には鈴木梅四郎、篠原和市、
植原悅二郎と言ふ八ヶ間敷屋の連中も居れば、民

方は獨り長野見たいな二流縣ではなく、一流縣に多いからだ、爲すべき仕事は多いがあの土木課長ではネーと言つて適任者を捜してゐる一流縣の知事が澤山にある筈だ、夫等の縣に君を轉任させてこそ適材適所の配置と言ふことが出来るのに聊か履き違つた感のある轉任と言ひたい。
コ一言ふと何だか兒玉君を無暗に擔いでゐるやうだが、一度君に會つたものは必ずや筆者の言を否定しないであらう。今迄の腕を内務省のお役人に認められ無かつたのが不幸であつた。長野は詰らぬ所だが政争は相當に激甚で政友會には鈴木梅四郎、篠原和市、植原悅二郎と言ふ八ヶ間敷屋の連中も居れば、民政には降旗元太郎、松本忠雄と言つた連中も居て、或は山形以上に五月蠅いかも判らぬ、併し君の例の手腕で無事切抜けることは請合だが、唯だ切り抜けた文では駄目ぢや、餘り仕事をしない知事の尻を叩いて、永年間忘れられてゐ

を道路行政を改革して長野を開發するのが蓋し君を長野に配した效果とも爲り又夫れが君の使命であらう。

◆

勅任待遇と爲つた大阪府の部長牛島航君、お祝の電報を出した氣早の人もあつたであらうが、其の翌日依願免本官の辭令が發表されて、一寸人を驚かした、後輩の爲に勇退したのちや、いや知事柴田の乾兒瀧江を探る爲の犠牲ぢや、色々に囃立てられてゐる、併し君は頭が禿げてゐて歳の割合に老けて見えるが夫れでも明治四十二年の東大出だから今頃に勇退する歳でもない、君が常に言つて居るやうに頭の毛はまだ生え揃はない程度に、まだ春秋に富んでゐる、で、免官になつたのは矢張り強制の意味を含むものと見なればならぬ、併し夫れを強制した知事柴田は、今の地方長官中の逸物で自分も許し人も認めてゐる、人に惚れられて位に、其の賢明さを謳はれてゐる男だ、殊に人事にかけて

は先天的の鑑識を持つてゐると言はれてゐる、彼れ柴田の爲に讃られたのだから牛島君も貧乏籤を引いたものだ。

昔柴田が愛知縣知事時代に福岡から瀧江武君を引き抜いて土木部長にした、併し内閣が變つて瀧江君の遣り場がなく爲つた、遂に内務本省に入れて跡始末を附けたが、柴田知事にして見れば自分が引き抜いたが爲に瀧江が窮地に居る何とかして救つてやらねばならぬと言ふ責任感を起したのであらう。併し其の感を露骨に表はさないで、知事に着任の最初から牛島君の行動を監視してゐた、そこらが柴田知事の賢明なところであらう、併し牛島君は夫れに感付かないで、前知事力石雄一郎が、何事も土木のことはお前に任せたぞと言つた難有味を忘れないで、何事も知事の代決をやる、併し柴田は彼れ力石のやうに粗放な政治家的知事ではない、克く地方長官の使命を心得てゐる事務官的の男である、夫れに知事が居ても以前のやうに牛島君が大抵のこととは代決をして終ふ、こゝ等が彼れ柴田に睨まれるやうに爲つた動機であらう。

併し人間は易者が言ふやうに合性があつて、其の個性が全然合はないものがある、柴田と牛島は夫れに弄ばされた格だ、知事が何人變つても大阪府土木行政の大局には左程の變りは無い、牛島であれば出來ない濱江であれば出来ると言ふやうな問題もない筈だ、で今度の齶首は心氣不合の結果と評して可いであらう。

牛島君の手腕の程は筆者が茲で事新らしく紹介せずとも、周知のこと

とだ、大阪の在任三年、着任當初

は景氣の可い政友會内閣時代で、

大阪市を中心とする放射環状道路

の新築計畫を樹てたが、愈工事に取

掛る段に爲つて内閣が變つて、折角の起

債も返戻さるゝと言つた調子で、君に手腕を振はしむるだけの餘地が無かつたことは、自他共に頗る遺憾とする點

だ、併しながら從來府市の技術者が睨合つて鬼角事件の進

捲を妨げて居た陋習を打破つて相笑つて府市の圓満を圖つ

たことは、市の連中は君に感謝して可いであらう。此の調子であつたから民間會社も、君のお蔭に喜んで居たものも勧くない筈だ。

始めての浪人生活、之も君を大成さす爲には必ずしも不利益なことではない、四十年代には中弛みと言ふことがあるから、夫れが廻つて來たものと觀念して、好きな酒でも呑んで、時機の來るのを待つ牛のことだ。

島

◆

航

牛島君の後任として大阪へ行く君 濱江武君、内務省に來てから餘り

愉快さうにも見え無かつたので、此度の

轉任は定めし君を喜ばしたであらう。と言ふの

は、君が内務省へ這入つたものの此處は地方廳とは違つて擔任技術の範圍が局限され、地方廳で部長さんとして納まつてゐるやうな調子には行かない、日進月歩の技術界に指

導的の役目を果たさなければならぬ、従つて大學を出てか

ら餘り讀まなかつた書籍を繙いて研究することを餘儀なくされる、地方で活きた仕事をしたものが學究的になる、そこで地方廳で部課長を勤めてゐた者には辛い、大概の人は

一時は神經衰弱になるのだが、君も亦其型に漏れないで一時は夫れの爲に苦しんだらしい、夫れに擔任されたのが

地方の港灣技術の監督であつた爲に一層閑

であつた、大きな港灣や少し名の知

られた港は大抵政府の直轄で執行

してゐるので君の手を煩はさな

い。假令監督する港灣があるにし

ても夫れは農林省が補助する漁港の工事で、之に君の技術的意見を加

へでもするなら補助しないと言ふことに爲

つて、益々君の手腕を振ふ餘地を無からしめてゐた、夫れ

すべきだ。

ばかりか矢張り省内には近世時代に最も忌むべき學閥の鬭争があつて、渺なからず君を惱してゐた。

併し筆者をして濱江君たらしめ、且つ夫れに轉任の内交

涉があつたとしたら恩人柴田の勸告とは言へお断りする。蓋し今の内閣の前途も既に運命附けられてゐる、内閣が變れば必ず變ることの知れた知事だ、君が愛知の二の舞を踏むのも其時であらうからである、殊に此度は旨く再び内務省に飯して呉れるかゞ頗る疑問であるからだ、萬一の僥倖

を夢みても、省内技術官は今迄通りに君を遇して呉れることは必定ぢや、夫れを思ふ

濱江と内務技師の地位に居て其の擔任

武江事務に手を擴げ純真技術家として君からだ。併し内諾したか否かは別

として、發令済の今日と爲つては赴任す

るの外はない、既往に反省して柴田知事に報恩

